

第3学年英語学習指導案

1. 日時 平成19年6月20日(水) 5校時 1時30分～2時20分
2. 場所 東久留米市立久留米中学校 基礎クラス 3年2組、応用クラス 第2学習室
3. クラス 3年2組 基礎クラス19名(近藤) 応用クラス16名(荒光)
4. 単元名 どの乗り物で行けばいいですか?—乗り物での行き方をたずねるとき
New Crown 3 DO IT TALK 3 (pp. 26～27)
5. 単元の目標
 - (1) 乗り物での行き方をたずねる場面で、積極的に発話や応答をし、話し続けることができる。
 - (2) 「乗り物での行き方をたずねるとき」「答えるとき」の基本的な表現を理解し、運用できる。

6. 単元の評価規準

コミュニケーションへの 関心・意欲・態度	表現の能力	理解の能力	言語や文化についての 知識・理解
<ul style="list-style-type: none"> ・間違いを恐れず、英語を使おうとする態度が見られる。 ・不自然な沈黙をせずに応答し、話し続けることができる。 ・ペアで協力して活動に取り組むことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「乗り物での行き方をたずねるとき」の表現を使い、伝えたい内容を正しく書くことができる。 ・「乗り物での行き方」をたずねることができ、適切に応じることができる。 ・内容を伝えることを意識して音読や発表ができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・乗り物での行き方をたずねたり答えたりする場面で、行き先や乗り物を表す表現を正しく聞き取ることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・行き方をたずねる疑問文の、構造と意味を理解している。 ・新出単語の意味がわかり綴りを書くことができる。

7. 指導にあたって

(1) クラス編成について

久留米中学校の英語科では、5年前から少人数授業を行っている。今の3年生は、1年生で2学級単純3分割、2年生で2学級習熟度別3分割を経験している。本年度は1, 2学期が1学級習熟度別2分割、3学期は単クラスでの授業を予定している。クラス分けについては、生徒と保護者の希望を元に決定し、定期考査の後に移動希望がある生徒については個別に面談を行い対応している。

基礎クラスでは、英語に苦手意識を感じている生徒が多いため、フラッシュカードを用いて新出単語の練習をしたり、1語1語丁寧に音読指導をして、単語と音読練習に力を注いでいる。また新出文法についても丁寧に説明をし、基本的な文法練習を行っている。

応用クラスでは、教科書の音読、ノート作り、単語練習などは一人で行える生徒が多い。そのため、授業では関連表現の練習やペアワークを行う時間を多くとり、自己表現能力を高めることを目標としている。また、授業は極力英語で進めるよう心がけている。

(2) 生徒の実態

アンケートを元にクラス分けをしているため、2年終了時のアンケートでは約70%の生徒が「授業の進度はちょうどいい」と答えている。また3年生になり、基礎、応用各クラスとも学習に主体的に取り組める生徒が増えてきた。1年から単語の学習と音読に力を入れており、75%の生徒が「既習の教科書が全て、または大体音読できる」と答えている。一方長文読解と英作文については苦手意識を感じている生徒が多い。

今回授業を行う3年2組は、基本的に真面目に授業に取り組むことができる。基礎クラスでは単語練習、文法プリント、パターンのはっきりした言語活動などにはきちんと取り組んでいるが、ライティングや応用的な言語活動には難しさを感じる。応用クラスは知的好奇心が旺盛で、前向きな姿勢が見られる。応用的な言語活動にもチャレンジしようとする生徒が多い。

(3) 指導の工夫

- ① 1年次より語彙力の伸長を目指して、ビンゴ、長期休業後のスペリングコンテスト、教科書各ページにおける単語テストを継続的に行っている。
- ② 「中学校3年間の教科書全ページが音読できる」を目標に、音読指導、暗唱指導に力を入れてきた。基礎クラスでは一語、フレーズ、文章とスモールステップを踏みながら、繰り返し音読指導を行っている。応用クラスではストレスやリンキングを意識した音読や速音読、暗唱にも取り組んでいる。
- ③ 4技能をバランスよく授業に組み入れたいという願いから、3種類のウォームアップの活動を取り入れている。読解問題（読む）、1、2年の教科書リーディングとディクテーション（読む、聞く、書く）、One minute chat（聞く、話す）を1週間3時間の授業に組み込んでいる。
- ④ 今年度は入試力、得点力も意識し、クラス別文法練習プリントを用いた文法練習を行っている。
- ⑤ 1年生では9月から300文、2年、3年では1年で500文の自由英作文を課題に出している。基礎クラスでは新出文法（教科書のポイント）を参考にした基本文の定着を目標に、応用クラスでは教科書の要約やオリジナル会話、トピックに対する短いエッセイなど、応用的な作文を目標にしている。
- ⑥ アクティビティーには、極力実生活に近いシチュエーションを設定したり、具体物を使用するなど、より実践に近い形でコミュニケーション活動ができるよう心がけている。

8. 指導・評価計画（2時間）

	ねらい・学習内容	主な教師の働きかけと評価 ◇指導上の留意点 ◆評価観点と方法
第1時	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教科書の本文を意味のまとまりを意識して音読することができる。 ○ 「行き方をたずねるとき」「答えるとき」の基本的な表現を正しく使うことができる。 ○ ペアで協力して「行き方をたずねる」場面のスキットを作ることができる。 ・ 口頭導入を聞き、乗り物での行き方をたずねる表現を知る。 ・ 本文とそれに関する質問を聞き、答える。 ・ 本文の読みの練習をして、意味のまとまりや区切りを考えながら読む。 ・ Talking Point を用いてパターン練習をする。 ・ ペアで行き方をたずねる場面のスキットを作り、発表の練習をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇スキットを作る際、基礎クラスでは教科書の文章を基本とするように指示。発展クラスではワークシートの関連表現なども用いるよう指示する。 ◆【表】意味のまとまりを意識して音読できるか。（音読発表） 【知】「行き方をたずねる」「答える」ときの表現を正しく使うことができるか。（観察） 【関】ペアで協力してスキットの作成に参加しようとしているか。（観察） 【表】「行き方をたずねるとき」の基本的な表現を使い、伝えたい内容を正しく書くことができるか。（スキット）

第2時	<p>○新出単語の意味が分かり、綴りが書ける。</p> <p>○「行き方をたずねる」場面のスキットを発表することができる。</p> <p>○「行き方をたずねる」表現を用い、積極的に発話や応答をし、話し続けることができる。</p> <p>○行き方をたずねる疑問文の、構造と意味を理解することができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本単元の単語テストを行う。 ・ペアで作った「行き方をたずねる」場面のスキットを発表する。 ・「行き方をたずねる」表現を用いた言語活動を行う。 ・本時の表現の確認プリントを行う。 	<p>◇より実践に近い形でコミュニケーション活動ができるよう、相手の目を見て大きな声で会話するよう促す。</p> <p>◆【知】新出単語の意味がわかり綴りを書くことができるか。(単語テスト)</p> <p>【表】内容を伝えることを意識して発表をすることができるか。(スキット)</p> <p>【関】不自然な沈黙をせずに応答し、話し続けることができるか。(観察)</p> <p>【表】「乗り物での行き方をたずねるとき」の表現を正しく使うことができ、適切に応じることができるか。(観察)</p> <p>【理】乗り物で行き方をたずねたり答えたりする場面で、行き先や乗り物を表す表現を正しく聞き取ることができるか。(ワークシート)</p> <p>【知】行き方をたずねる疑問文の、構造と意味を理解することができるか。(ワークシート)</p>
-----	--	---

6. 本時の指導計画 (2 / 2)

(1) 目標

- 「行き方をたずねる」場面のスキットを発表することができる。
- 「乗り物での行き方」をたずねることができ、適切に応じることができる。
- 行き方をたずねる疑問文の、構造と意味を理解することができる。

(2) 展開

	学習活動	教師の支援	◇指導、◆評価の留意点 *教具
導入	<ol style="list-style-type: none"> 1. 英語で挨拶をする。 2. 本単元の単語テストを行う。 前時に配られた Words and Phrases で提示された単語の中から出題された一語を解答用紙に書く。 3. Bingo を行う。 4. One minute chat を行う。 与えられたトピックについて1分間会話を続ける。相手を変えて2回会話を行い、自己評価、振り返りを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・体調、日付などを聞く。 ・一語問題を出す。 ・Bingo の単語を読む。 ・トピックを与え、必要に応じて会話のヒントを与える。1分間はかる。 	<ul style="list-style-type: none"> *一語テスト表 ◆新出単語の意味がわかり綴りを書くことができるか。【知】 *Let's Enjoy Bingo *ストップウォッチ *One minute chat 評価表 ◇言い方がわからない表現があれば教える。良い会話はフィードバックする。
展開	<ol style="list-style-type: none"> 1. 前時の復習読みをする。 Kumi と man の役割ごとに読む。1分半でできるだけたくさん読む。 2. 前時に作成したスキットをペアで練習する。 3. スキットを発表する。 1ペアずつ前に出て発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・役割を決めて読む。速読の時間を計る。 ・質問があれば答える。 ・発音、表現などを確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇机間指導をし、声の小さい生徒には声をかける。 ◆内容を伝えることを意識して発表をすることができるか。【表】

	学習活動	教師の支援	◇指導、◆評価の留意点 *教具
展 開	4. 言語活動の内容とルールを知り、練習する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ tourist 役と student 役に分ける。 ・ student は各停留所に待機する。 ・ tourist は8つの目的地を自分の好きな順番で回り、次の目的地へのバス番号と下車停留所を聞きとり、メモをしながらバス停を移動していく。 ・ student は自分の停留所から、聞かれた目的地への行き方を伝える。 ・ 役割を交替する。 </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・ ワークシートを配り、言語活動の内容とルールを説明する。バス停表示を教室に貼る。 ・ 目的地の英語での言い方、ターゲットセンテンスなどを口頭練習する。 	<ul style="list-style-type: none"> *ワークシート *バス停表示 ◆不自然な沈黙をせずに応答し、話し続けることができるか机間指導をしながら観察する。【関】
	5. 活動を行う。 student 役の生徒は各バス停に分かれ、そのバス停から他の目的地への行き方の紙を見ておく。tourist 役の生徒はワークシートを持って各バス停を回り、聞いた情報をメモする。 6. ワークシートを提出する。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 机間指導をして、ルールや言い方がわからない生徒を支援する。また、プラスワンの会話ができているペアの活動は全体にフィードバックする。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ターゲットセンテンスを正しく使うことができ、適切に応じることができるかを観察する。【表】 ◆ワークシートで、行き先や乗り物を表す表現を正しく聞き取ることができたかを見る。【理】
まとめ	1. 言語活動の自己評価をする。 本時の会話の穴埋め問題と、活動の自己評価、感想を記入する。 2. 次時までの課題を確認する。 ノートに次の単元の本文と単語の意味を書く。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自己評価の観点と感想のポイントを説明する。 ・ 課題をはっきりと伝える。 	<ul style="list-style-type: none"> *ワークシート ◆行き方をたずねる疑問文の、構造と意味を理解することができているか。【知】

(3) 評価

○内容を伝えることを意識して発表をすることができたか。【表現】

○不自然な沈黙をせずに応答し、話し続けることができたか。【コミュニケーションへの意欲・関心・態度】

○「乗り物での行き方をたずねるとき」の表現を正しく使うことができ、適切に応じることができたか。【表現】

○乗り物で行き方をたずねたり答えたりする場面で、行き先や乗り物を表す表現を正しく聞き取ることができたか。

【理解】

○行き方をたずねる疑問文の、構造と意味を理解することができたか。【言語や文化についての知識・理解】